

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録

会議名	令和4年度 第2回 大和市子ども読書活動推進会議	
開催日時	令和4年10月6日(木)15時45分～17時	
開催場所	文化創造拠点シリウス 610大会議室	
出席状況	参加委員	<推進会議委員> 今宮 智子、伊禮 利奈、山口 真由子、長嶋 智美、古木 幸一、矢嶋 千草、大川 伸子 (順不同・敬称略)
	欠席委員	渡辺 康子、吉野 敦子 (順不同・敬称略)
	市側出席者	<事務局職員> (3名)
	指定管理者	<図書館スタッフ> <2名>
	傍聴人人数	0名
公開非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
審議又は検討経過及び結果	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の出席状況の確認(9名中7名出席) ・図書館出席者自己紹介 ・配布資料確認 <p>1 議事</p> <p>(1) ことば読書わくわくプラン実施計画進捗点検について(資料1-1、2)</p> <p>◎事務局より、資料1-1を基に、ことば読書わくわくプランの点検結果について説明。</p> <p>委員: 第1次点検の結果に対して第2次点検でこのような理由でランクを上げたといった記述になっているが、点検はいつ実施したのか。</p> <p>事務局: 1次点検は6月頃に各事業を所管する実施期間が自己評価として実施した。資料の2次点検欄は事務局による評価案であり、今回の会議で内容について協議いただきたいと考えている。</p> <p>委員: 今回の評価は、令和3年度を対象とした評価なのか、最終年度として計画全体の評価なのか。</p> <p>事務局: 今回は令和3年度の年次計画に対しての点検となる。</p> <p>委員: 総合的な評価は別に行うのか。</p> <p>事務局: 現在施行されている第4次計画の策定に際し、わくわくプラン全体としてどのような成果・課題があったかについて総括しており、計画内にも記載がある。</p> <p>◎事務局より、資料1-2を基に、ことば読書わくわくプラン基本方針1の点検結果について説明。</p> <p>質問意見無し</p> <p>◎事務局より、資料1-2を基に、ことば読書わくわくプラン基本方針2の点検結果について説明。</p> <p>委員: こどもの読書活動推進を進めていく中で、ほとんどの小学校にある児童クラブは、図書館以外の色々な施設で貸出を進めていくための有効なステッ</p>	

プと考えるが、団体貸出の利用が進まない原因はどういったものが考えられるか。

事務局：児童クラブ側がたくさん業務をこなす中で、読書にどれだけのリソースを割くことができるのか、具体的な制度のイメージがついていないように思う。導入にハードルを感じないように、わかりやすい手引きの作成等を進めれば利用が広がるのではないかと考える。

図書館：児童クラブとの意見交換はできていないが、団体貸出の対応はシリアスのみでの対応のため、地域によっては大量の本を借りることが困難であることが考えられる。学校への団体貸出の運搬については10月から始まっているが、児童クラブは対象となっていない。児童クラブの需要は絵本だけではないが、まちなか絵本スポットのような形で本を届けることも考えられる。児童クラブにとって使いやすいシステムを相談しながら検討していきたい。

委員：まちなか絵本スポットの周知は広報やまとでの募集以外に行っているものはあるのか。

事務局：現在は、広報やまととホームページでの募集のみだが、タウンニュースや新聞にも取り上げられているので、波及効果を期待している。今後は待つだけでなく、候補となる事業所に出向いてPRを行いたいと考えている。

◎事務局より、資料1-2を基に、こども読書わくわくプラン基本方針3の点検結果について説明。

委員：38番の民間商業施設でのおはなし会等の実施について補足すると、令和3年度はコロナの状況下で実施できず0となっているが、現在は、渋谷のイオンモールや、こどもの城等で、おはなし会やブックトークを含めて親に絵本を紹介する活動は再開している。

委員：昨年度までを考えると、コロナの影響により、縮小されている部分がある。今年度になってからは、学校としてもボランティアによる読み聞かせを再開し、子どもが本に触れる機会も増えてきている。

児童クラブでは、学校で借りた本を児童クラブで読む子もいれば、児童クラブにある本を手取る子もいる。コロナによる制限がある中でも、読書をしようとする子どもはいる。児童クラブへの団体貸出が進まない原因として、新しい本が入るメリットが伝わっていないのではないかと考える。子どもは真新しい本を手取ることが多いので、そのことを児童クラブに伝えられたら良いと考える。

委員：保育園でも園の本の貸し出しは行っていたが、コロナの影響で滞ってしまっている。それでも読書の秋なので、保護者向けのお便りなどで子どもが好きな本を伝えたり、掲示したりして情報を伝えようとしている。

児童クラブに団体貸出を促進する難しさについて、保育園でも団体貸

出は利用しているが、図書館から借りた大切な本なので、読み聞かせには利用はするが、子どもに触れさせられない。読み聞かせのみ限定した利用であっても、管理の手間はとても大きい。団体貸出によるメリットはあるが、どうしても、気を遣う運用になってしまう。保育園でもそういった状況なので、児童クラブのような自由に本を手にとれる環境となると、破損や紛失などのリスクがハードルになってしまっていると想像できる。

委員：コロナの状況下であっても、絵本は子どもたちの生活の一部と考えているので、幼稚園でも在庫としてしっかりもっていきたいが、予算として厳しい部分もある。

市ではブックスタートと学校の図書室に力を入れていることは承知しているが、幼稚園や保育園といった中間的な部分がとても大事だと思う。その部分に関して、公的な関わりが薄いのではないかと考えている。

絵本はボロボロになるまで読んだことが子どもの実績だと思うので、借りた本だから大事にしないといけない、汚してはいけないと規制するのではなく、そういった覚悟で貸し出してくれるといいと思う。

委員：14番の児童クラブへの団体貸出の周知に関しては意見が多かった。推進会議の意見案としては、「積極的な周知を継続してください」となっているが、周知の方法を検討してもらうことを含めて、この文言でよいか。

異議等なし。

委員：市にはコミュニティセンターが20館以上あり、児童館も持っている。コミュニティセンターは促進対象にはなっているのか。

事務局：公共施設として、絵本スポットを使ってもらえることはできるほか、蔵書としなくなったものを配りサイクルフェアの案内を送付している。有用な情報や制度の紹介を図書館と協力して児童館の現場担当者に伝えていけたらと思う。

図書館：児童館へのヒアリングはできていないが、他の自治体では、施設によってスペースや人員の問題があり、一律の対応は難しい。できないからやっていないのか、知らないからやっていないのか、課題を整理しつつ、どのような形式であれば実施できるのかを相談していきたいと考えている。

事務局：今回の意見を反映させた、最終案については今宮会長に一任するという形でよいか。

異議等なし。

(2)「絵本のまち」関連事業について

委員:セカンドブックの絵本は3種類とも配布するのか。

事務局:3種類の内から1冊を選んでもらうことになる。

委員:ブックスタートで持っていない本が無くて困ったと話をしたことがある。今回のセカンドブックのラインナップも、持っていない本が無いと思った。

委員:まちなか絵本スポットは間違えて借りられないように気を付けながら設置している。

委員:先ほど発言した幼稚園や保育園といった中間となる部分をセカンドブックでフォローしてもらえることはとても良いと思う。今後もその層の充実を進めてもらえるといい。

図書館:先日、読書ボランティアの集いを実施し、読み聞かせ等の活動はできていないが、ミーティングだけは重ねてボランティアの火種を絶やさないように努力している人の悩みや意見を共有できる場を再開することができた。

まちなか絵本スポットは、最初から完璧な運用ではなく、走りながらより良い方法を探っていきたいと考えている。

市からたくさんの提案があることが図書館としても刺激になる。またこの会議のように興味をもっていただける方が多くいることもありがたい。子どもの読書活動推進には、どこの自治体でも悩んでいるし、関心も高い。良い仕組みは十分に活用していきたい。

(3)その他

事務局:来年の大和市民まつりに参加する予定。今回はイベント部会の部長にあたる。出展内容については次回の会議で検討したい。

次回の会議は2月に開催を予定。

以上